

街路樹

学力向上に向けて ⑤

授業の質的改善に向けて「校内の組織を生かす」

学力向上に向けての実践は、本来個人個人が行うものであるが、校内における研究は組織を活性化し、組織の中で教師一人一人が努力して初めて成果が上がる。そのためには現職教育の充実を図る必要がある。普段の授業や授業研究、更には実態調査の分析を通して、課題を明確にし、先生方の志気を高めていくことが大切である。

各学校の実態に応じ、目の前の子どもをよく見つめ、楽しい授業の創造に取り組んでいただきたい。但し、楽しい授業のおおもとは、新しい単元に入る前にその基礎・基本が身についているかが問題となる。だからこそ、目の前の子どもをよく見つめること、そして生かすことが大切である。そのためにも次のような視点をもって、児童生徒の学びを変えることができないか、組織を生かして、これまでの環境へのかかわりや指導を振り返って欲しい。

1. 環境づくり

- ・子どもの学びが充実する環境づくり
- ・学校全体で、子どもの意欲を高める雰囲気醸成
- ・子どもの学びの習慣と生活習慣の相関を捉えた学習習慣形成の指導
- ・学習中での人間関係の醸成
- ・自己実現が図られる環境づくり
- ・学力テスト実施の目的とそれを生かす方法の共通理解

2. 授業改善のポイント

子ども理解に立った学習指導の充実のために次のような点も振り返って欲しい。

- 日々の授業を改善する→子どもの実態を大切に授業に臨む。
 - 評価を生かしているか。
 - 実態を見届けるだけでは改善できない。
- 「何か一つ工夫すればいい」というワンパターン化しているといえないか。
 - 弱い領域を明確にし、子どもサイドに立った教材研究

授業の改善 ⑥

～コンピュータ等教育機器の活用～

市内の小・中学校にコンピュータが導入されてそろそろ20年になります。この間、インターネットの普及によって、情報の量は増え続け、伝達のスピードも加速してきました。同時に、新聞やテレビを賑わす犯罪への利用、有害サイトへのアクセスや個人情報をめぐる問題も増え続けています。こうした点については、学校も家庭や地域と連携して指導や対策を講じ、子どもたちを守る必要があります。個人情報の取り扱いについては、今まで以上に慎重な対応が求められています。

市でも今年度から教職員用にパソコンが導入され、徐々に私有パソコンを使わずに校務を処理できる体制に移行しつつあります。こうした流れの中で、各校の情報の取り扱いを再考する機会につなげて欲しいと思います。

さて、授業でのパソコンの利用状況はどうでしょう。平成19年3月の調査によると、いわき市では、「コンピュータを操作できる教員」が96.7%、「コンピュータで指導できる教員」が70.0%となっています。

これは、福島市や郡山市と比較しても、決して高くはありません。授業でパソコンを活用する効果は認めつつ、準備が面倒だったり、操作に自信が持てなかったりと、積極的になれないのが現状ではないでしょうか。子どもたちの期待の大きさに応えきれないもどかしさが感じられます。インターネットによってパソコンが身近なものになり、教育用のソフトウェアも、以前に比べると操作性が格段に高まっています。また、プレゼンテーションなどの活用例も多くなり、教育用のソフトウェアに限らない様々なアイデアを生かした活用例も見られます。

先生方の「使ってみたい」という意欲を高め、「これなら使える」という自信につながるよう、校内研修や総合教育センターでの専門研修に積極的に参加し、「指導できる教員」として自信を持っていただきたいと思っております。

指導技術 ⑤

＝教科の好き嫌いがはげしい子どもの指導は？＝

「嫌いな教科はわからない、できない」と決めつけるものではありませんが、一般的には「嫌いな教科＝不得意な教科」ということが多いようです。そこで、「嫌いな教科征服週間」、「征服月間」を設けて、徹底的にその教科の克服に向けて取り組ませるのです。分数とか漢字というように限定するのもよいでしょう。この時、ノートコンクールや努力の跡を発表できる機会を設けてやると一層効果的です。そして教師は、その教科の面白さを味わえる授業に心がけるようにすることが肝要です。

研修の感想紹介

学校教育相談実践講座

- 実技を通して、聴く耳、態度をもつことの大切さを改めて感じました。(小・W)
- 日頃おろそかにしていた事、忘れかけていた事等を改めて気づかされた。素直で謙虚な気持ちに立ち返って子どもたちとまた向き合っていきたいと思いました。(小・W)
- 演習では、共感的な聴き方と否定的な聴き方の違いが目に見えてよく分かりました。(小・W)
- 改めて人とのコミュニケーションの基本を確認することができました。(中・M)
- 子どもに必要な発達資産「内的資産」と「外的資産」の2つがあることが分かりました。その中でコミュニケーション能力の大切さについて、やはり親も我々教師も考えていかなければならないことが理解できました。(中・M)

情報教育担当者研修

- いわき市情報セキュリティポリシーを確認できたことは大変よかったと思います。(小・M)
- 住所録や成績を管理する立場からデータの保管については、打ち合わせや服務倫理委員会でも全職員で確認しているが、印刷等を業者に委託する場合も気を付けなければいけないと思いました。(小・W)
- 個人情報をパソコン内に保有していることは、非常に危険であることが分かりました。(小・M)
- 個人情報漏洩は絶対あってはならないことなので、学校で職員にも伝えていきたいです。(小・M)
- 情報教育と教育の情報化の違いや情報教育の目標について明確に分かりました。(中・M)